

**三菱UFJニコス、「ロイヤルパークホテル ザ 羽田」に
訪日外国人向け“外貨建てカード決済サービス”を導入！**
～羽田空港国際線旅客ターミナルビル内のホテルで、9月30日取り扱いスタート～

三菱UFJニコスはこの度、株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ(東京・千代田、河野雅明社長、以下ロイヤルパークホテルズ)と、9月30日開業の「ロイヤルパークホテル ザ 羽田」に、訪日外国人向けの外貨建てによるカード決済サービス「DCC(ダイナミック・カレンシー・コンバージョン)決済サービス」を導入することで合意、オープン当日にその取り扱いを開始します。

「ロイヤルパークホテル ザ 羽田」は、羽田空港国際線旅客ターミナルビルの唯一のホテルで、そのエントランスが国際線旅客ターミナル3階の出発ロビー内にあり、抜群のロケーションとなっています。また、国際線乗り継ぎ時などに保安エリア※1内の旅行者が空港から出ずに(入国せずに)客室やラウンジなどを利用できる、国内初の“トランジットホテル”としても注目を浴びています。

※1 搭乗ゲート付近など、空港内で保安検査後の旅行者だけが立ち入りできる区域(次ページ参照)。

同社は今般、著しく増加している訪日外国人を対象にしたサービスの一環として「DCC決済サービス」導入を決めたものです。「DCC決済サービス」は、日本国内において海外発行カード(VisaとMasterCard®)による自国通貨※2建てでの決済を可能とする仕組みであり、当社は同分野で豊富な経験を有するFEXCO Merchant Services社と組み、昨年10月1日から同サービスを提供しています。

※2 米ドル、韓国ウォン、豪ドル、台湾ドル、ユーロなど10通貨。

具体的に同サービスは、当社運用のクラウド型マルチ決済システム「J-Mups(ジエイマップス)」導入加盟店で利用可能。これにより、訪日外国人は、従来の「円建て」に加え、「自国通貨建て」の決済が選択可能となり、為替変動の心配なく、利用時点の為替レートで支払金額を確定できるようになるものです。

なお、同社は今回オープンの羽田を含め全国8カ所で「ロイヤルパークホテル」を展開。同サービス導入は「ロイヤルパークホテル ザ 汐留」(平成26年3月)、「横浜ロイヤルパークホテル」(平成26年8月)に続く3カ所目となるものです。

当社は、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、今後も訪日外国人向けの決済サービスの環境整備に注力していきます。

<サービス概要>

1. 対象取引: 海外発行のVisa、MasterCard®カード会員によるカード決済
2. 対応通貨: 10通貨(米ドル、韓国ウォン、豪ドル、台湾ドル、ユーロ、香港ドル、シンガポールドル、英ポンド、タイバーツ、カナダドル)

<参考資料>

■トランジットホテル

国際線の乗り継ぎ時などに保安エリア(空港内で保安検査後の旅行客だけが立ち入りできる区域)内の旅行客が、空港から出ずに客室やラウンジなどを利用できるホテル。夜の便で到着した旅行客が、空港の外に出ず、入国審査などもせずにそのまま翌日の便まで、ホテルでくつろげるようになるため、国際線から国際線への乗り継ぎなどに便利。シンガポール・チャンギ空港、韓国・仁川空港など、各国の主要空港に設けられています。

■外貨建てカード決済「DCC決済サービス」ご利用イメージ



※請求通貨がUSドルのクレジットカードの例

■店頭取引/端末画面イメージ

①対象カード判定



②説明内容表示



③確認画面



以上